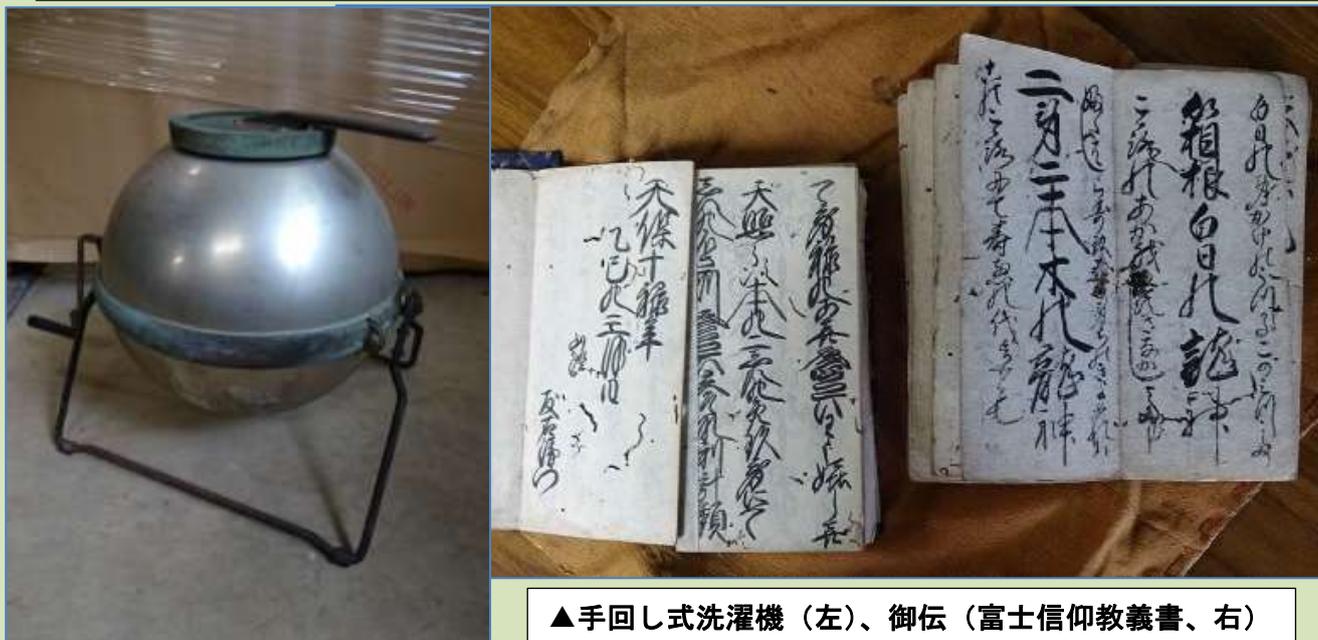


厚木市郷土資料館 NEWS 221

資料館のさまざまな活動② 資料収集 1

集め続ける郷土の「資料」



▲手回し式洗濯機（左）、御伝（富士信仰教義書、右）

6月18日、郷土資料館で「あつぎ百科の使い方」と題して、学芸員によるギャラリートークを行いました。展示資料をみながら、開館時以前より続けてきた郷土資料収集の意義についてお伝えしますと、想像以上に豊富な資料情報、厚木の地域情報に驚かれる方もいらっしゃいました。収集当時にはその価値が分からなかった資料でも、調査研究が進む中で増えていく資料情報量に従って、貴重性が増していくものも少なくありません。一点でも多くの資料を残していくことが資料館の大事な仕事といえます。とはいっても限られた収蔵スペースの中、資料の収集には十分な精査が必要なことも事実です。

開館以来、休むことなく郷土資料の受け入れを続けていますが、最近の収集資料を紹介したいと思います。まずは、小学校3年生が社会科で取り組む「昔の暮らし」で人気者になりそうな「手回し式洗濯機」（=写真左）。洗濯板とたらいから、電気洗濯機へ移行する間に開発されたもので、資料館では初収蔵です。

そして、「御伝」(=写真右)。これは富士山を信仰する行者が持つ教義書ですが、山際村（厚木市）の旧家から4冊も発見、寄贈されました。八行はちぎょうという行者から天保10年（1839）に与えられた御伝の持ち主・友右衛門は、田名村（相模原市）の篠崎家日記にも登場、藤塚浅間社の碑に刻まれた川崎宿タテカワ講との関係も考えられ、厚木の富士信仰解明の一つの鍵となります。「資料収集」は「あつぎ」を伝えていくため、資料館が続けなければならない大事な活動なのです。

『厚木市史』民俗編(2)

「村の暮らし」を語る市史発刊

13巻目の『厚木市史』、民俗編(2)村の暮らしを発刊しました。民俗編(1)生活記録集の続編です。

*

厚木市では、昭和50年以降民俗調査を継続して行ってきました。その成果は、『厚木の民家』1~3、『厚木の民俗』1~11、『星野日記』など衣食住や日記まで様々な分野の調査報告書にまとめられてきました。今回発刊した『厚木市史』民俗編(2)村の暮らしは、それらの集大成で、特に聞き書きではなく、古文書や日記等の記録に遺された生活文化や伝承文化を明らかにしようとして取り組んだ点が特色となっています。

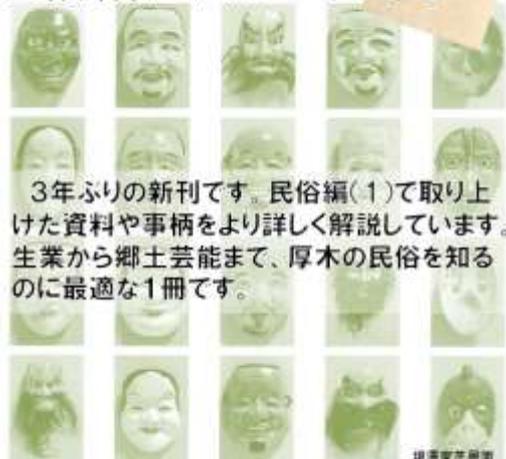
例えば、第5章人の一生(通過儀礼)の中で「通婚圏」について取り上げています。嫁や婿は、どこから嫁いできたかと考えた時、同じ村、近くの村からではと想像できますが、実際はどうだったのかを伝わっている資料から調べてみたのです。愛甲郡温水村の例では、寛政4年(1792)から明治11年(1878)、86世帯176事例からおおよそ90年間の動向がわかります。嫁貰(よめもらい)は愛甲郡内から嫁に来る例が64例と最も多く、中でも同じ村の中での婚姻が14例と最多になっています。同じ愛甲郡内の長谷村や飯山村の例も多く、おおよそ1里(4km)から2里(8km)以内から嫁ぐことが多かったようです。婿入りについても、同様の傾向がみられ、婚家の財産を引き継ぐ婿は、同じ村の中で子どもの頃から人となりを知っている者が選ばれたのではと推測できます。このように、記録から昔の伝承を裏付けできる場合もあるのです(本書284頁)。

『厚木市史』民俗編(2)村の暮らしは、農業や養蚕の写真等493点を掲載しており、頁をめくって眺めるだけでも面白い本になっています。是非、中央図書館、公民館、郷土資料館で手に取って御覧ください。厚木市役所1階市政情報コーナー、郷土資料館で販売中です。

(頒布価格 5,500円)。

平成28年度発刊

厚木市史
民俗編(2)村の暮らし



3年ぶりの新刊です。民俗編(1)で取り上げた資料や事柄をより詳しく解説しています。生業から郷土芸能まで、厚木の民俗を知るのに最適な1冊です。

◆価格 5,500円 642頁 A5判
◆厚木市役所1階市政情報コーナー、厚木市郷土資料館で販売しています。郵送希望の方は、現金書留で送料560円と合わせてご送金ください。
◆問合せ・送金先 〒243-8511 厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課 電話046-225-2060

普及啓発活動（自然）から①

中央公園でセミの羽化をみる

盛夏、木立がある厚木中央公園は、街中であって木蔭で涼がとれる人気スポットです。8月6、7日に開催される「鮎まつり」では、主要会場の一つとなり、大勢のお客さまをお迎えいたします。街中の公園ですが、毎年、2千匹前後のセミが誕生する場所でもあります。7月下旬から羽化が始まり、「鮎まつり」が開催される8月初旬が、まさに誕生のピークとなります。

セミが誕生する（成虫になる）ことを、^{うが}羽化といいます。地面から出たセミの幼虫は木を上り、羽化する場所を探します。場所が決まると、じっと動かなくなり、しばらくすると幼虫の体が裂けて羽化が始まるのです。羽化終了までは1時間弱、羽化直後は白っぽいですが、翌朝には大人の色になります。この神秘的なセミの羽化を、学芸員のガイド付きで観察してみませんか。



▲重量感がある幼虫。殻とは違う雰囲気がある



▲アブラゼミの羽化

【申し込み】7月23日必着。往復はがき（参加者全員の氏名・年齢・代表者の住所・電話番号と「羽化」と書き、243-0003 寿町3-15-26 資料館）か、マイタウンNo.172096で申し込み。多数の場合抽選。

NEW

古民家岸邸の七夕まつり



■会期 平成29年7月9日（日）まで

※会期中休館日 7/3（月）、4（火）

■午前10時～午後5時

■会場 厚木市古民家岸邸（厚木市上荻野792-2）

*短冊に願を書いて笹竹に飾ってください。

講座 民話のおはなし会

7月2日（日）10時～14時 参加自由・無料

内容 民話・折り紙教室・昔遊び

2017. 7月 郷土資料館カレンダー



日	曜日	行 事 内 容	実施場所	時 間	対象等
3	月	伝えよう わらべうたあそび!	学習相談室	10:00~ 15:00	◎
13	木	古文書解読会	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
18	火	伝えよう わらべうたあそび!	学習相談室	10:00~ 15:00	◎
20	木	古文書解読会	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
27	木	古文書学習会「和田家文書 村政・村況」を読む	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
29	土	中央公園の虫に親しむ セミの羽化 申込:7月23日までに郷土資料館またはマイタウン№172096	学習相談室、 中央公園	18:30~ 21:00	○



○申込み制

☆受講決定済みの方

◎参加自由

伝えよう わらべうたあそび! 竹てっぽうあそび

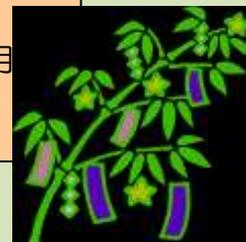
■日 時 平成 29 年 8 月 7 日 (月) 10~12 時

■場 所 郷土資料館 1 階 学習相談室

*対象は 5 歳以上のお子様
*無料。あそんだ竹てっぽうは
持ち帰れます。

《古民家岸邸 7 月の休館日》

3(月), 4(火), 10(月), 11(火), 18(火), 19(水), 24(月), 25(火), 31(月)
「古民家岸邸の七夕まつり」は 9 日まで開催



(問い合わせ・申し込み先)

厚木市郷土資料館 〒243-0003 厚木市寿町 3-15-26

<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp> 046-225-2515

厚木市郷土資料館 news 221

発行日: 平成 29 年 7 月 1 日 編集: 厚木市郷土資料館
発行: 厚木市教育委員会